

今年も私の思いは、宇都宮で叶った! 合格者喜びの声

宇都宮で頑張
見事に合格を勝ち取った
先輩たちの
「合格者の喜びの声」
をご紹介します。

理系 第4期生・第3期生
(2015年度在籍) (2014年度在籍)

※誌面の都合により、合格者より一部抜粋。その他、合格者の喜びの声は、本校ホームページに掲載中(匿名)。
★第1期生(2012年度在籍)～第4期生(2015年度在籍)の合格者情報は、別冊「総合案内書」に掲載しています。

合格 秋田大学(医-医)

勉強ができない=のびしろがある



白岡 裕毅さん
(宇都宮高校 卒)
[第3期生(2014年度在籍)]

現役の時から、私は理系だった。しかし、「積の微分法」「商の微分法」を知らなかった。「部分積分」「置換積分」も同様だ。英語においては、「自動詞・他動詞」など考えたこともなかった。駿優に入って、「関係代名詞」を学び、感動したことが昨日のこのようだ。

受験勉強をするにあたって大切なのは、「始め」と「終わり」を意識することではないだろうか。「医学部に行きたい。でも、恐らく2年かかるだろう。支援をお願いしたい。」と、私は父に頭を下げた。ここから、私の駿優生活は始まった。猶予は2年。

1年目は、全てが新鮮だった。ぶ厚い市販の参考書は読む気が起きず、とにかく授業に集中した。医学部は、センターの配点が大きいので、すべての教科に力を注いだ。結果、偏差値+20、センターは100点伸びた。だが、医学部には届かなかった。猶予はあと1年。

2年目は、主要科目に力を入れた。数学の予習には、時間をかけた。1年目とは異なり、解ける問題が増え、難問が解けた時は、失神しそうになるほど嬉しかった。最後の記述模試では、数学で満点をとり、初めて偏差値80を目にした。その後、無事センターを乗り越え、二次を通り、医学部に合格することができた。

この2年間、駿優生として過ごし実感したことは、支援の大切さだ。勉強に不安になったら、講師陣、教務の方々に相談できる。赤本も借りれるし、コピーもしてもらえる。そして、何よりも講師陣、教務の方々と距離が近く、親身なやりとりができる。これは、大手ではあり得ないだろう。一人一人の志望校を把握し、個々に細かく対応してくれる。

最後に、駿優スタッフ、そして父への感謝の言葉を述べて、この合格体験記を締めくくりたい。2年間の長い間、本当にありがとうございました。今後も勉学に励み、人のために尽くせる医師になります。

諦めなくて良かった

合格 獨協医科大学(医)

私は去年、大宮の大手予備校に通っていました。通学に往復4時間以上かかり、体験授業やきちんと相談することなく予備校を決めてしまったため、授業を理解するのも大変で、流される日々を送ってしまいました。悔いが残る一年だったので、もう一年だけ浪人させてもらうことになりました。昨年の反省を生かして、予備校探しを始め、駿優に出会いました。

駿優は家から近く、少人数制です。入学前も親身に相談に乗ってくださりました。体験授業も面白く、分かりやすかったため、駿優への入学を決めました。

もう後悔したくないと思い、駿優ではほぼ毎日閉館時間まで自習し、分からない所は放置せず、先生に質問するようにしました。予・復習は大変でしたが、土曜も授業があること、まめに小テストを行ってくださる事は、とても助かりました。帰宅後や日曜は、だらけがちでしたが、かえってリフレッシュできて良かったと思います。

駿優の授業は、本質的な理解を大切にす充実した授業です。質問にも丁寧に答えてくださいます。また、休み時間も15分と長めなので、次の授業の準備をするのに十分です。

駿優は、少人数制なので、面接時ただ「勉強しろ」と言うのではなく、一人ひとりに合った的確なアドバイスをしてくださるところに感動しました。スタッフの方々と距離が近く、ちょっとした事もすぐ相談できました。私は国立志望でしたが、センター試験の得点率は8割を切ってしまう、国立の医学部受験を諦め、急遽、獨協医大の地域枠を受験することになりました。一般枠での合格だったため、一時は入学も諦めましたが、周囲の協力もあり、無事入学手続きを終える事ができました。本当に最後まで諦めなくて良かったです。駿優のスタッフ、講師の方々、そして家族に感謝です。

大学入学後も、今までの経験と反省を生かし、粘り強く学んでいきたいです。今までありがとうございました。



平林 なつこさん
(宇都宮中央女子高校 卒)
[第4期生(2015年度在籍)]

合格 東北大学(工)

駿優に通ってみて



滝田 烈人さん
(宇都宮高校 卒)
[第4期生(2015年度在籍)]

まず始めに申し上げますと、私は2浪しました。1年目は大宮の大手予備校で、2年目は駿優宇都宮校で、です。この2年間で比較して、駿優の良かった点をいくつか述べたいと思います。

1つ目は、通学時間です。昨年、私は大宮まで片道2時間かけて通っていました。混雑した電車内では単語帳も開きにくく、座れないことも多くあり、毎日通学だけで疲れ切っていたのを覚えています。しかし、駿優へは僅か20分。正直、この差はかなり大きかったです。

2つ目は、少人数制であることです。先生方にすぐ顔を覚えてもらえ、質問にも行きやすいと思います。1クラス100人を超えるような大手予備校とは異なり、担任の面倒見も良かったように思います。

3つ目は、授業やテキストの質です。2浪が決まって駿優へ予備校を変える時、有名予備校よりは授業の質は劣ってしまうのではないかと、不安視していました。しかし、実際に受講してみると、むしろより分かりやすかったので、失礼ながら少し驚いてしまいました。(ですが、これはあくまで私個人の感想なので、体験授業などを通して、ご自分で確かめてみてください。)

また、駿優の授業数は、かなり多いです。単語テストや小テストも定期的に行われ、基礎から徹底して勉強できるので、怠り癖のある人には良いと思います。自分の勉強の時間をもう少し作りたいと考えたこともありましたが、今思えば授業と予習復習さえしていれば十分に力はついたので、独り善がりの勉強法に陥らずに済み、良かったと思います。

この2年の浪人生活を振り返ると、1浪目から駿優に来ればよかったな、というのが正直な感想です。少なくとも、私の性格には駿優の方が合っていました。この1年間支えてくださった駿優スタッフや講師の方々には、大変感謝しています。本当にありがとうございました。

第一志望校に合格できた理由

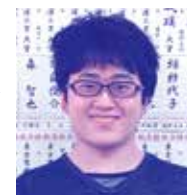
合格 東北大学(工)

私は大学受験に失敗し、浪人することを決めたので、この駿優 宇都宮校に入学することにしました。この予備校に決めた理由は、家から最も近く、家から通うことが可能であったからです。合格につながった要因は、3つあります。

一つ目は、先ほど述べた通り、家から通うことができた、という点です。1人暮らしをしようとすると、家事をしなければならぬため、勉強時間が削られてしまいます。また、食事の栄養バランスも崩れてしまうため、健康的にもあまり良くないと思います。また、家から通うことができたため、生活リズムを整えることができました。

二つ目は、友達を作れた、という点です。1人で勉強し続けてしまうと、どうしてもストレスが溜まってしまい、なかなか勉強の効率が上がらないと思います。友達としゃべったり、時には、みんなで運動することで、高い勉強効率を維持したまま、勉強を続けることができました。また、友達と競い合いながら勉強をすることで、自らをより高めることができました。

三つ目は、授業の時間割がしっかりと定まっていた、という点です。他の予備校とは違って、駿優の授業数は多いです。授業の予習・復習の時間が取りづらく、時には、もう少し授業数が少なくてもいいのではないかと、思うことがありました。しかし、そのことで勉強をさぼるということが、ほとんどありませんでした。自習時間が多過ぎると、集中が続かず、勉強効率が落ちてしまうと思います。駿優の場合、自習ではほとんどと浪目の予習・復習に取り組んでいたため、高い集中力を維持したまま勉強できました。



飯村 隼太さん
(大田原高校 卒)
[第3期生(2014年度在籍)]

合格 宇都宮大学(農)

1年間頑張ってきたよかったです! 駿優での1年間



高橋 教敦さん
(宇都宮北高校 卒)
[第3期生(2014年度在籍)]

僕が駿優を選んだ理由、それは「宇都宮でやり直す!」という、この言葉に惹かれたからです。

もちろん僕の中には、大宮の大きな予備校に通うという選択肢もありましたが、今思えば、1年間駿優で頑張ってきたよかったです!と、胸を張って言えます。是非、皆さんも「宇都宮でやり直す!」ことを考えてみてください!

入学すると、まず、前期の授業が始まります。前期には、各教科の基礎を徹底して固めていくので、「授業についていくのが大変だ!」と、感じたことはありませんでした。この基礎固めをしっかりと行った上で、後期には、より実践的な力をつける授業が受けられるので、段階を踏んで進んでいくことができます。

また、僕にとっては、駿優の自習室の存在が大きかったように思います。授業のない空きコマには、予習・復習を行い、またすべての授業が終わっても、自習室は開いているので、居残りで勉強していくこともできます。また、夏休み・冬休みの時期には、特別講習の期間がありますが、自分が選択した授業のない日でも、自習室を利用することができます。なので、僕は授業があろうがなかろうが、開いている日は毎日、駿優に通っていました。

これも、宇都宮でやり直すことの利点であると思います。大宮の予備校では、こうはいかないと思います。駿優では、他にもさまざまな利点があります。少人数制ということなので、先生方への質問にも行きやすく、丁寧に対応していただけます。

僕は駿優に入学して、1年間がんばってきました。この1年間、最後まで頑張ってきたのは、駿優での勉強の効果を確かに実感できたからです。「1年間駿優でやってきたのは、無駄ではなかった!」と、胸を張って言えます。是非、皆さんも「宇都宮でやり直す!」ことを考えてみてください!